

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名 ひらかたふじさか 枚方藤阪線 <small>ひらかたしなみやほんまち</small> 起終点 自：大阪府枚方市中宮本町 <small>ひらかたしつかいだしんまち</small> 至：大阪府枚方市甲斐田新町	事業区分 街 路	事業主体 大阪府 延長 1.4 km
事業概要 枚方市中心部を東西に結ぶ幹線道路であり、枚方市中心部における交通渋滞緩和と交通安全対策を目的とし、現道拡幅整備を行う		
S 6 3 年度事業化	S 3 2 年度都市計画決定 (S 5 8 年度変更)	S 6 3 年度用地着手
全体事業費 約 5.2 億円		事業進捗率 93%
計画交通量 21,783台/日		供用済延長 0 km
費用便益分析結果 B / C (事業全体) 1.8 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /68億円 (事業費) /66.8億円 (維持管理費) /1.6億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /127億円 (走行時間短縮便益) /140.6億円 (走行費用減少便益) /5.2億円 (交通事故減少便益) /-19.3億円
基準年 平成15年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善） ・安全な生活環境の確保（当該区間の自動車交通量が1000台/12h以上かつ歩行者交通量100人/日以上）		
関係する地方公共団体等の意見 ・地元市などから事業の早期整備が望まれている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成14年4月に沿道に大学が開校したことにより、歩行者交通が増加している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・再々評価時点において、進捗状況は用地91%、工事92%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成17年度供用に向けて、事業推進に努める		
施設の構造や工法の変更等		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 計画交通量：21,783台/日		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

